

校長室だより

春日 (しゅんじつ)

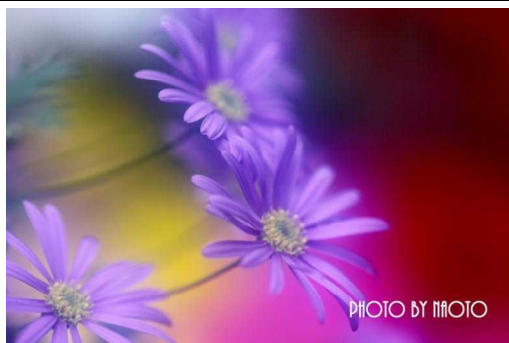
校長 清武 直人

梅の花

ぼっぼっぼと 梅の花
ぱっぱっぱと 梅の花
うっすら うっすら 甘い香り

今朝学校に来ると、校長室の入り口に置いてある花器に薄桃色の梅の小枝がさしてありました。校長室に入ると、校長室の花瓶にも。

校務員さんが、ご自宅の梅の小枝を摘んでくださったのです。校務員さんの温かい心が暖かい春を連れてきました。



葛 藤

朝はまだ薄暗い。
寒いし、まだ眠たい。
「ああ、オリンピックなんか
見らんどけばよかった」
「真央ちゃんは転倒するし・・・。」
ネコはまだ布団の中でぬくぬくと寝ているのに・・・。
ああ、まだ布団の中にいたい。

でも、自分の心に言い聞かせるのです。
「来年度の重点目標は、たくましさの育成だ！」
なんて言っている自分がここでくじけてはならないと・・・。

遅 刻

嬉しいことかどうかよく分からないのですが、最近、遅刻して走ってくる子どもが多くなっているのです。以前は、遅刻している子がそんなに急いでやって来る姿はあまり見かけなかったような気がするのですが。

遅刻が激減したわけではありませんが、

「遅刻をしてはならない。」

という意識が子どもたちの中に芽生えてきているのでしょうか。

まずは、一步前進。

小さな出来事も大きな喜び！

逆 転

遅刻して、走って学校に来る子どもの姿を見て、以前勤めていた学校での出来事をふと思い出しました。

研究発表会の当日の朝のことでした。学校に来ると、体育館の窓ガラスが割れていました。朝から大変なことになってしまいました。

「だれかいなねえー！」
「本当、悪いやつがおるねえー！」
「わざと割ったじゃないとー！」

いらいらが募ると、勝手にいろいろなことを想像して、つい汚い言葉が口から出てしまいます。

翌日学校へ行くと、職員室の机の上にメモが置いてありました。メモには、高等学校の名前と二人の名前と電話番号。

職員の話によると、夜の7時頃、高校生2人がお詫びに学校に来たということでした。

「今時すばらしい高校生やね！」
「で、どこの高校って？」
「そらあ、きっといい高校に違いない！」

不思議なものです。過ちを犯しても、正直であることは、その過ちを打ち消してしまうほどの力があるのです。

遅刻をしても走って来る子どもの顔を見ると、なぜか走る姿を褒めている自分の心があるのです。